

**事務事業マネジメントシート**  
**(兼)予算編成資料・実施計画資料**

作成日 H 25 年 3 月 22 日作成

<b>事務事業名</b>	用地取得対策事業 <input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業	<b>所属部局</b>	建設部	<b>単位番号</b>	7128			
		<b>所属課室</b>	用地管理課	<b>課長名</b>	深澤 政樹			
<b>基本政策</b>	III うるおいと利便性のある都市づくり	<b>所属担当</b>	用地担当	<b>担当者名</b>	加藤 俊徳			
		<b>予算科目</b>	会計	名称	款	項	目	細目
<b>政策</b>	11 道路網の整備	01	一般	08	01	01	020 15	
		<b>事業区分</b>	<input type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 施設等維持管理事業 <input type="checkbox"/> 県の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 補助金交付事業 <input type="checkbox"/> 市の制度による義務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他の事業 <input type="checkbox"/> 義務化されている協議会等の負担金					
<b>施策</b>	18 生活関連道路の整備		<b>事業期間</b>	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 21 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 21 ~ 24 年度)				
		<b>法令根拠</b>	道路法					
<b>事業の内容</b> 事業の概要	事業は次年度以降3年間の計画内容も記載		事業費の主な内訳 (24年度 決算見込)					
	起業地取得業務(建設部所管事業) ・起業地地権者への事業概要等説明、用地取得交渉、土地売買契約業務、 物件移転補償契約業務に係る経費 ・用地取得業務に伴う事務経費		<b>項目(細節)</b>	<b>金額(千円)</b>	<b>項目(細節)</b>	<b>金額(千円)</b>		
	H25年度以降 単位番号:7110 事務事業名:用地取得対策事業 に統合							
						計	0	

**1 現状把握(DO)**

## (1) 事務事業の目的と指標

<b>①活動</b>	
24年度活動実績	年度繰返し
25年度活動予定	
<b>②対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等</b>	
①道路整備・改良事業に係る起業地 ②地権者	
<b>③意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていくのか、どのように変えるのか)</b>	
①起業地地権者との用地交渉及び起業地の取得	
<b>④上位目的(どのような結果に結び付けるのか)</b>	
○道路整備・改良事業の計画的推進がかかる	

<b>⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない</b>	
ア:事業説明会	回
イ:用地交渉戸数	戸数
ウ:契約戸数	戸数
<b>⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない</b>	
ア:起業地数	筆
イ:地権者数	人
ウ:	
<b>⑦成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない</b>	
ア:用地交渉戸数	戸
イ:契約件数	件
ウ:	
<b>⑧上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない</b>	
ア:用地取得を執行した路線数	路線
イ:	

<b>(2) 事業費・指標の推移</b>		<b>単位</b>	<b>23年度 (決算・実績)</b>	<b>24年度 (決算見込・実績)</b>	<b>25年度 (予算・目標)</b>	<b>26年度 (次年度計画・目標)</b>	<b>27年度 (計画・目標)</b>	<b>28年度 (計画・目標)</b>	<b>最終 年度 (トータルコスト・目標)</b>
年間事業費	財源内訳	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源	千円 千円 千円 千円 千円	275	191	0	0	0	0
トータルコスト	人件費	事業費計 (A)	千円	275	191	0	0	0	0
	正規職員従事人員	人	3	3					
	延べ業務時間	時間	900	900					
	人件費計 (B)	千円	3,566	3,566	0	0	0	0	0
	(A)+(B)	千円	3,841	3,757	0	0	0	0	0
活動指標		ア:回 イ:戸数 ウ:戸数	2.0 17.0 17.0	3.0 27.0 27.0					
対象指標		ア:筆 イ:人 ウ:	25.0 17.0	39.0 27.0					
成果指標		ア:戸 イ:件 ウ:	17.0 28.0	27.0 50.0					
上位成果指標		ア:路線 イ:	7.0	6.0					

## (3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	H21.4組織見直しにより用地管理課として発足し、新規に事務事業を定めた。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べどう変化しているか?また、今後の予測は?	公共用地取得に係る業務について、新規に事務事業を定めた。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	新規に定めた事務事業であるため、関係者からの意見等はない。

## (4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしていない⇒【理由↓】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	H21.4 新規に策定した事務事業であるため、その業務を分掌により執行している。
③ H 24年度に実施した改革改善の内容	

事務事業名	用地取得対策事務	所属部	建設部	所属課	用地管理課
-------	----------	-----	-----	-----	-------

## 2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 道路等の整備を進めるために必要となる事務事業であり、政策体系に整合しているものと考える。
	②公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 上位目的として、生活関連道路や主要幹線道路の整備に結びつくものであることから、公共関与は妥当であると考える。  事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働
	③維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 道路等の整備を進めるために必要となる事務事業であり、対象と意図は妥当であると考える。
有効性評価	④成果の向上余地 今後さらに事務事業の成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 上位目的の進捗状況により、その業務を執行する。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓)  <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 用地取得対策事業と用地取得対策事務とに分かれているが、同一業務であることから事業として統合できると考える。 <input type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 影響なし <input type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 上位目的の進捗に大いに影響する。  <input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 上位目的達成のため、廃止することはできない。
効率性評価	⑦事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 予算計上額が法定等で定められた額であることから、削減の余地ないと考える。
	⑧人件費の削減余地 成果を下げず人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 H21.4に組織された担当であり、適正であると考える。
公平性評価	⑨受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 適正に執行されている。

## 3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	建設部が所管する道路整備改良事業を達成するため、起業用地取得における事務経費であるため、今後も適切に実施することが必要である。
②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)…複数選択可	(3) 改革・改善による方向性
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果)
<input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果)	<input type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果)
<input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果)	<input type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切)
<input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)	
(2) 改革改善案について	
特に無し	
※「用地取得対策事務」及び「用地取得対策事業」と2事業と分かれているが、同一業務を分けてあるので、今後見直し時には統合することを望む。	
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策	(5) 事務事業優先度評価結果
特に無し	成果優先度評価結果
	コスト削減優先度評価結果